

平成30・31年度 道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業
平成30・31年度 熊本県道徳教育研究推進校

上天草市立阿村小学校

研究 主 題

自立(自律)した児童の育成を目指す 道徳教育の充実

～考え、議論する道徳科の授業構成の研究を通して～



体験活動と道徳科の
授業との関連の工夫

本校では、標記の指定を受け研究に取り組んでおります。今年度は、研究の視点の中でも「発問の構成及び発問の工夫」「体験活動と道徳科の授業との関連の工夫」の2点について、研究授業を中心とした授業実践を積み重ね、試行錯誤する中で、本校の「考え、議論する道徳科」の授業スタイルの確立を目指してきました。本リーフレットは、今年度の研究内容の概要をまとめたものです。

研究主題について

学校教育目標

ふるさとを愛する自立（自律）した阿村っ子の育成
～笑顔いっぱい、知恵いっぱい、元気いっぱい～



研究主題

自立（自律）した児童の育成を目指す道徳教育の充実
～考え、議論する道徳科の授業構成の研究を通して～

●「自立（自律）した児童」とは

〈自立〉
自分のことは
自分でできる



〈自律〉
自分の心は自分が
決める

●「考え、議論する」とは

- ・多面的・多角的に考える
- ・自らを振り返る
- ・自己の生き方について考えを深める
- ・問題意識をもつ
- ・自分との関わりで捉えて考える

●阿村小学校では

- ・現時点での価値観を確認し、本時の「考えること」を捉える
- ・中心発問について、自分の考えをもつ
- ・多様な価値観に触れ、多面的・多角的に考える
- ・広がったり深まったりした、本時の「大切」を確認する
- ・「大切」の視点で自分を振り返る

「考えること」とは
本時で考えていくテーマのこと。
現時点での児童が持つ道徳的価値
に対する問い合わせ端的に表したもの。



「大切」とは
本時で捉えた道徳的価値のこと。「考え
ること」の答えとなるもの。導入時の道徳的
価値より広がったり深まっている。

仮説1

教材を自分との関わりで捉え、多面的・多角
的に考えることができるような発問の構成や
発問の工夫を行えば、考え・議論する道徳科の
授業を展開することができるであろう。

視点1 授業づくり

- ①発問の構成及び発問の工夫
- ②道徳科の授業における対話活動の工夫
- ③道徳的なよさや道徳的成长を見取る評価の
工夫

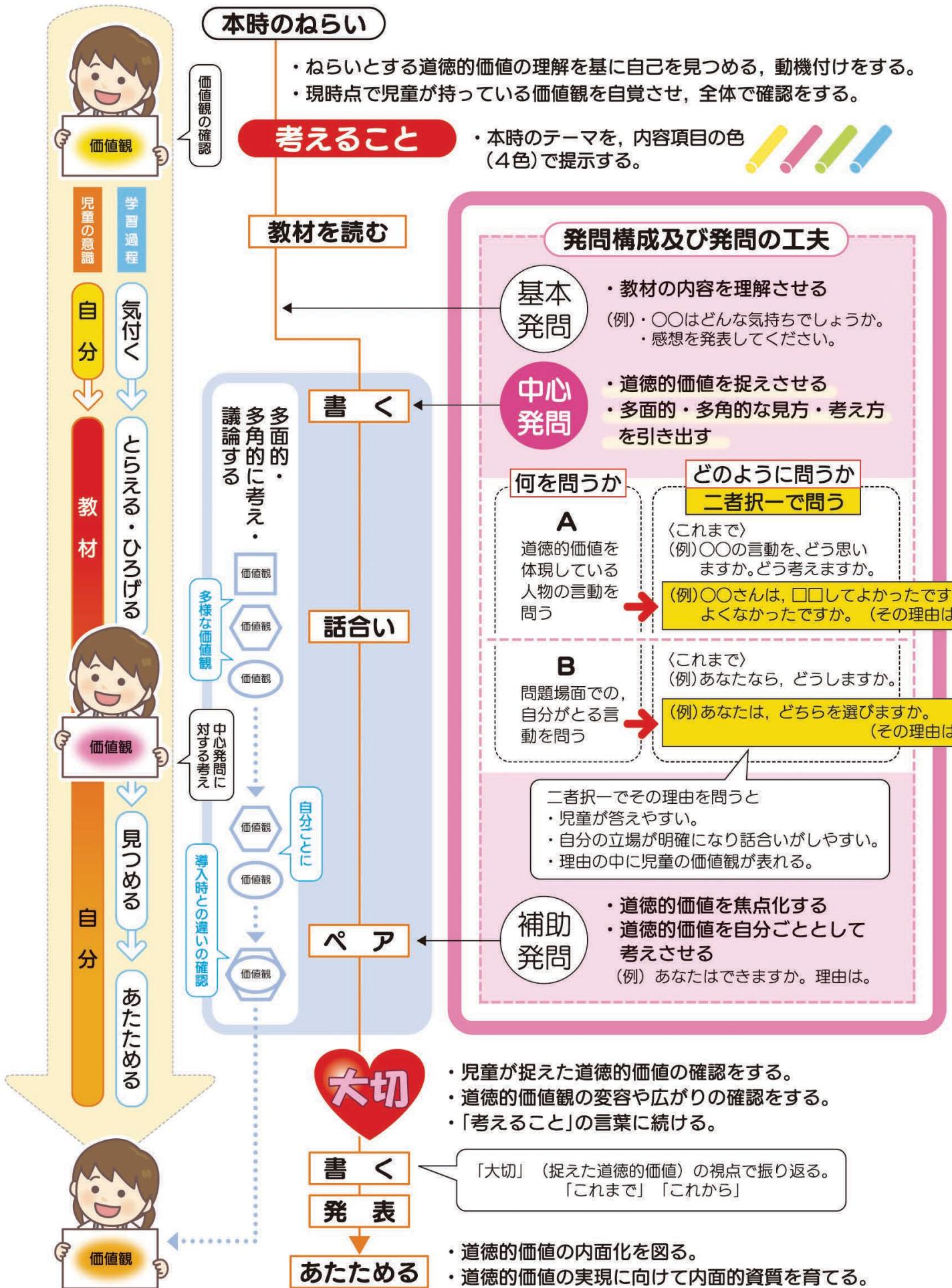
研究の仮説

仮説2

共通体験を道徳科の授業に生かす基盤づく
りとして、体験活動と道徳科の関連のさせ方を
工夫すれば、道徳的価値への感じ方や考え方が
深まり、道徳的問題への意識が高まるであろう。

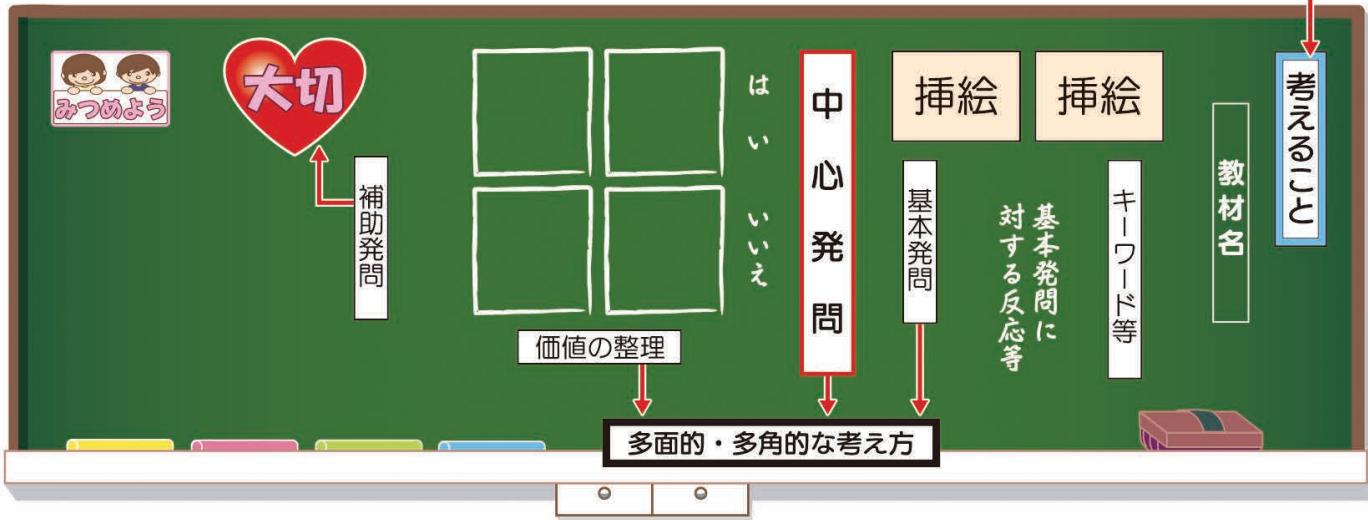
視点2 環境づくり

- ①体験活動と道徳科の授業との関連の工夫
- ②道徳コーナーの活用
- ③学習の基盤となる共通実践事項の取組
- ④「熊本の心」や「つなぐ～熊本の明日へ～」の活用



板書の基本型

内容項目の色



具体例
1
(5年)

主題名 相手の立場に立って親切に【B-（7）】親切、思いやり

教材名 『くずれ落ちただんボール箱』

ねらい 困っている人を見たときは、その人の身になって、親切にしようとする態度を養う。

A

Diagram illustrating Example A:

- Top Left:** みづめよう icon, 大切 (daijite) heart, text: 親切なことは 考え、困つて 誰にでも行う (Thinking about being kind, thinking about others who are in trouble, can be done by anyone).
- Top Center:** 親切にすること (Things to do to be kind) icon, boxes: することは大事 (It's important), 困る (To be in trouble), 周りの人も (People around you), おばあさん (Grandma), ほめられた (Praised), 感謝された (Thanked), できる (Can do), ためには (For), 自分の責任は (Own responsibility), 果たすべき (Should be done), 人前で叱られ (Reprimanded in front of people), されたまま (As it was), かつたら誤解 (Misunderstanding will occur).
- Top Right:** 二人は片付けを手伝ってよかったです。 (They did a good job of cleaning up together), 插絵 (Izue) icon, ありがとうございました (Thank you very much), ぐずれ落ちただんボール箱 (Crumpled paper ball box), 手伝おうかな (Want to help), 迷うな (Don't get lost), 人が見ているから (Because people are watching), 軽々かしい (Casual), 親切にすること (Things to do to be kind).
- Bottom Left:** 補助 (Hoshū) icon, あなたなら、できますか。理由は。 (補助発問2) (If you can, why? (Auxiliary question 2)), 手紙が来なくても、手伝って良かったですか。 (補助発問1) (Even if there is no letter, is it good to help? (Auxiliary question 1)).
- Bottom Right:** 基本 (Kihon) icon, おばあさんの困っている様子を見て、二人はどうなことを考えたでしょう。 (基本発問) (By observing the grandmother's troubles, what did the two think? (Basic question)).
- Bottom Right Corner:** 親切アンケート (Kindness survey) icon.

具体例
2
(2年)

主題名 自分のわがままを見直す【A-（3）】節度、節制

教材名 『わがままな大男』

ねらい 自分勝手な行動をすると自分も周りも気持ちよく生活できないことに気づき、わがままをしないで生活しようとする態度を育てる。

B

Diagram illustrating Example B:

- Top Left:** みづめよう icon, 大切 (daijite) heart, text: 大男ですか？ (Are you a big man?), 気持ちよく生活するためには (For living happily), 相手のことを考える (Thinking about the other person), 自分も友だちも (Myself and friends).
- Top Center:** 春の大男 (Spring Big Man) icon, illustration of a man sleeping under a tree.
- Top Right:** 冬の大男 (Winter Big Man) icon, illustration of a man sitting in a snowy garden.
- Bottom Left:** 補助 (Hoshū) icon, 友だちだけが春の大男になるといいのかな。 (補助発問2) (Only friends become spring big men, right? (Auxiliary question 2)).
- Bottom Right:** 補助 (Hoshū) icon, 自分の庭だから、独り占めしてもいいんじゃないの。 (補助発問1) (My garden, I can独り占め (occupy) it alone, right? (Auxiliary question 1)).
- Right Side:** 大男の話 (Story of big men) icon, みんなが気持ちよく生活するためには (Everyone can live happily), 冬の大男 (Winter Big Man) icon, 春の大男 (Spring Big Man) icon.

仮説2

環境づくり

視点2 ①体験活動と道徳科の授業との関連の工夫 ②道徳コーナーの活用

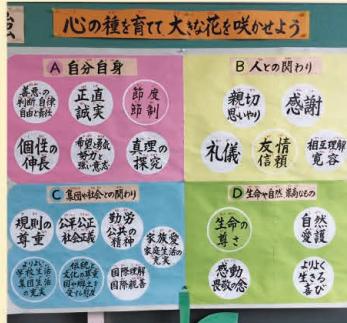
オリエンテーションの実施 全校→学級

学校の重点目標

「生命の尊さ」「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」

学年の重点目標

- 低**・(たんぽぽ)「節度、節制」
- 中**「友情、信頼」
- 高**・(なのはな)「よりよい学校生活、集団生活の充実」



心は「生活全て」の中で育てます。道徳科の授業では、育てた心について振り返り、お友達と話合いします。心の種を育てるのは「自分」です。

学級

- ・道徳科の学習の進め方や話合いの約束の確認をする。
- ・なりたい自分をイメージする。

小さい子にも親切にしたい。お友達にいじわるしない子どもになりたい。



学年での取組

道徳的価値の理解

道徳コーナー

道徳科の足跡

他教科等の学習事前指導等

体験活動

道徳科の授業

補充・深化・統合



年長さんが楽しんでくれてよかったです。

優しく教えてあげられてよかったです。



2年「かっぱわくわく」親切、思いやり



1年「はしの上のおおかみ」
親切、思いやり

道徳科の足跡

全校集会を起点とした学校全体での取組

アンケート

道徳的価値の理解

道徳コーナー

道徳科の足跡

全校集会

教科等の学習

道徳科の授業

道徳科の足跡

道徳コーナー

運動会との関連

道徳コーナー

道徳科の足跡

阿村小学校附属幼稚園 合同運動会		
5月20日(日)		
1.2歳	3.4歳	5.6歳
きくても がんばりまじめ	協力して がんばりまじめ	役割を果たして がんばりまじめ
あきあつたがんばらんと きくともがんばらんと	あきあつたがんばらんと きくともがんばらんと	あきあつたがんばらんと きくともがんばらんと

学校 各学年の重点と重なる学年ごとの運動会のめあて

こんなふうにするといいよ。



第1回地域との合同運動会を成功させます。



道徳
コーナー

持久走大会との関連

アンケート



11月27日
持久走大会本番
自分に 反対に 運に
まけるな !!



●体育・朝ラン
今日もがんばるぞ。



あきらめたら、そこで終わる。自分の中に勝つんだ。



考えること

大切

道徳科の足跡

今年度の取組を経て

〈教師の声より〉

A 児童の実態から、教材のポイントを捉えた発問づくりができるようになったな。

B 発問構成を考えたことで、児童の思考の方向もイメージできるようになってきたぞ。



C 中心発問や補助発問によって、児童が自分の立場で考えて言えるようになったな。

A 二者択一の中心発問で児童全員が自分の考えをもつことができたことがうれしいな。



B 値値観の整理や適切なタイミングでの切り返しは、難しいな。

C 児童がお互いの発表を聞きながら、価値観の違いを意識したり、考えを出し合ったりする場面を増やしたいな。

〈児童の作文より〉

（左側）

（右側）

（左側）

（右側）



〈道徳科の評価〉（通知表のコメントより）

道徳科の学習を通して、「自分はどういう行動をとればよいのか。」を深く考えることができるようになりました。特に、「自然」や「生命」について考える学習では、これからもっと生き物に優しくしたいと書いていました。



〈心ノートより〉



毎日の帰りの会で、1日の振り返りをノートに記入する。自分の思いや考え方を書くなど、道徳的価値につながる記述も多い。

1/27

ぼくは、今日の持久走大会で、今まで練習できつくて、少し歩いてしまっていたけど、今日は足の痛みにも負けずにしっかりと走りきることができました。2番に今まで良いタイムでヤストライよりはおそらくこえることができませんでした。でも今日、走りきって、今日このような持久走が成功できたのは、友達や家族、先生がおうえんしてくださいた方のおかげだと思います。自分には、あがり走るのがいいではないか、これが一体力をつけるようにしていくつもりです。そして今日はほかにたけださんなんか練習もがんばり、協力合い、できて良かったです。

足の痛がりにひたれて、最後まで走りましたね。
練習も、体も参加して元気だった!!

次年度の方向性

◇「考え・議論する」授業展開を目指して「発問」を中心 に研究を重ねる中で、話し合い活動を支えるものを、下記のように捉えることとした。次年度は、学年段階に応じた「児童の話し合いの仕方」と、児童の発言やつぶやきを適切に取り上げ、話し合いを調整する「教師の指導力」を高めたい。そのために、児童の実態把握や教師の切り返しの発問数を増やすなど、より細やかな授業構成を考えていく必要がある。



話し合い活動を支えるもの

◇全体計画別葉については、全ての教育活動で行う道徳教育の明確化とともに、道徳科の授業の効果的な配列について、見直しを行う必要がある。

◇各学年の年間計画については、本校の発問構成に沿った、整合性のある「ねらい・考えること・中心発問・補助発問・大切」を明記し、授業の評価がしやすい計画を作成していく。

◇全校集会は、事前の児童アンケート結果を使ったり、挙手での発表やペアトークを行ったりと、児童の参加場面を少しづつ増やしてきた。次年度は全校児童が積極的に考えを交流する場を設定するために学期に1回程度、計画的な全校道徳の実施を考えている。